

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護者の判断を利用者の判断としている所がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いをきちんと聞き、支援する。 ・認知症の方への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討やロールプレイを中心とした内部研修(勉強会)を設け、意見を出しあう。 ・認知症についての病気の理解、行動の特性などの知識を身に付けると共に、日々の実践を通して、認知症による行動への対応力を学んでいく。 	12ヵ月
2		業務主体となっており、利用者との関わりにゆとりを持つことが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人とゆとりをもって関わることができるよう、業務の見直し、効率を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等で業務の見直しを行い、周知徹底を図る。 ・コミュニケーションスキル向上のための内供研修(勉強会)を企画、実施する。 	12ヶ月
3		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の訓練を繰り返す事で、全職員が知識としてではなく、技術として身につけるような取り組みを行う。 ・地域密着型施設なのに、地域との関わりが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震と火災に備えた避難方法を全職員で共有できるようにしていく。 ・地域住民の方たちにも協力して頂けるよう関係作りを行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震時と火災時の対応マニュアルを、会議等を利用し、職員間で共有できるようにする。 ・消防士立ち合いの訓練では、消火器等の使い方について、知識を得られるようにする。 ・自治会の方と顔馴染みの関係を作っていく。 	12ヶ月
4		レクリエーション活動がマンネリ化になりつつあるため、工夫が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢筋力を維持するレクリエーションを工夫する。 ・コロナ禍で外出が出来ないので、季節をかんじてもらうためにも、季節の行事を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の笑顔を引き出すようなレクリエーションを工夫し、職員も一緒になって楽しむ。 ・季節の行事や手先を使った折り紙などで四季の花を作り、季節を感じていただく。 	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。